

令和 3 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

明 星 会

目 次

1	法人本部の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	1	P
2	法人事業所の運営報告・・・・・・・・・・・・・・・・	4	P
	◎明星学園・第二明星学園・グループホーム		
	○主な事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5	P
	○利用者の健康管理と保健衛生・・・・・・・・・・	7	P
	○利用者の食生活健康管理・・・・・・・・・・	10	P
	○広報・職員研修等・・・・・・・・・・・・・・・・	12	P
	◎指定特定相談支援事業所・・・・・・・・・・	20	P
	(明星学園一番星、第二明星学園一番星)		
	◎明星保育園		
	○主な事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	21	P
	◎資料		
	法人の事業所の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	38	P
	職員の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	39	P
	利用者・園児の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	40	P

令和3年度 法人本部 事業報告

1 基本理念

《 みんな幸せになりたい あなたも私も 》

社会福祉法人明星会は、地域において、乳幼児保育を担う明星保育園（定員 120 名）と障がい者支援（特に知的障がい者及び自閉症者支援）を担う明星学園等（定員 110 名）を運営する福祉機能体である。

事業所全ての職員が、利用者の方々の“幸せになりたい”をかなえようとする実践を通して、職員自身や利用者の家族、そしてそれを囲む地域までもが幸せになっていく姿を具現化するべく研鑽を深めている。きめ細やかな観察力、知識と経験と正しい人権意識に裏打ちされた係わり、法人、利用者、職員、家族を貫く信頼感、それら無くしては、“幸せになりたい”の実現はない。誰もが（年齢が低かろうが高かろうが、障がいがあろうが無かろうが）幸せになりたい主体として、認め尊重され、個々に異なる幸せを安心して希求できる存在として浮かび上がらせることが我が法人の使命である。

2 法人が行う事業

第一種社会福祉事業	障がい者支援施設	明星学園・第二明星学園・グループホーム
第二種社会福祉事業	保育所	明星保育園
	指定特定相談支援事業	明星学園一番星、第二明星学園一番星

3 事業の総括

令和3年度度は、以下の事項を法人の重点として取組み、概ね達成できたものと考えています。

- （1）社会福祉法人制度改革法に沿った適正な法人運営
- （2）支援の基本姿勢
- （3）職員の資質向上・利用者支援、保育の充実
- （4）地域との交流
- （5）安全・安心の確保
- （6）第三者評価の導入

3 法人役員（令和4年3月31日現在）

理事長	宮下 智						
理 事（7名）	下平 薫	原 久	片桐俊男	宮下眞知子	木下ひろみ	坂井元信	
監 事（2名）	福澤 茂雄	大島 英嗣					
評議員（8名）	青木 公子	塩澤 隆	西村 礼史	菱田 博之	宮島 利広		
	前田 雄二	松澤 陽子	中島 武津雄				

4 会議の開催状況

理事会	第1回	令和3年4月7日
	内容	役員、評議員の候補者選任等
	第2回	令和3年6月8日
	内容	令和2年度事業報告・決算報告等
	第3回	令和3年6月22日
	内容	理事長選任
	第4回	令和3年9月10日
	内容	新グループホーム建設計画等
	第5回	令和3年11月25日
	内容	グループホーム新築工事基本・実施業務委託契約、補正予算、職員給与規程の改正案等について
	第6回	令和4年3月3日
	内容	令和4年度事業計画・予算、就業規則の一部改正案、給与規程の一部改正案、定款の変更案等
評議員会	第1回	令和3年6月22日
	内容	役員の選任案、令和2年度事業報告・決算報告案等
	第2回	令和3年12月10日
	内容	職員給与規程の改正、補正予算案等
	第3回	令和4年3月18日
	内容	令和4年度事業計画・予算案、第二次補正予算案、就業規則等の一部改正等

5 財産取得・施設整備（主なもの）状況

○明星保育園

調理トイレ・洗濯室改修工事 工事費 5,467千円

・目的及び事業内容

衛生環境の充実、おむつ交換場所の確保

・効果

衛生面が整い、おむつ交換場所の確保・棚の設置ができた。

職員室 FF 式石油温風暖房機取替工事 工事費 231千円

・目的及び事業内容

経年劣化の為。修理部品の製造がない。

・効果

季節に応じた使用ができるようになった。

○明星学園

電話本体移設工事	工事費	1 3 5 千円
電話配管工事	工事費	2 8 6 千円

・ 目的及び事業内容

無線 LAN 環境構築工事の付随工事。

エアコン設置工事（作業棟）	工事費	1, 9 8 0 千円
---------------	-----	-------------

・ 目的及び事業内容

利用者が心地よく過ごせるように、エアコンを設置する。

○第二明星学園

宙組トイレ新設工事	工事費	1, 9 8 0 千円
記念館シャワーユニット設置工事	工事費	9 9 0 千円

・ 目的及び事業内容

クラスター発生時の対応設備として設置。

有心寮非常灯設置工事	工事費	2 8 6 千円
------------	-----	----------

有心寮外灯増設工事	工事費	2 3 0 千円
-----------	-----	----------

・ 目的及び事業内容

防災・防犯対策のため。

雪組フローリング化工事	工事費	1 9 8 千円
-------------	-----	----------

宙組フローリング化工事	工事費	3 9 6 千円
-------------	-----	----------

・ 目的及び事業内容

生活空間の環境整備。

○学園全体

無線 LAN 環境構築工事	工事費	4, 6 4 4 千円
---------------	-----	-------------

・ 目的及び事業内容

WEB 会議等のため環境構築。特にクラスター発生などの非常時に有効活用のため。

○グループホーム

北方グループホーム解体工事	工事費	2, 1 4 5 千円
---------------	-----	-------------

・ 目的及び事業内容

グループホーム「ヴィラそよ風」新築工事のため。

のぞみハイツ外壁塗装工事	工事費	2, 0 0 0 千円
--------------	-----	-------------

・ 目的及び事業内容

経年劣化のため塗装を実施。

○備品購入費

第二明星学園（雪組・宙組）とろみサーバ	購入費	5 1 2 千円
福祉の森システム更新	購入費	3, 2 9 9 千円
公用車（わくわく）軽中古車	購入費	3 5 2 千円
公用車（事務）中古車	購入費	3 0 4 千円
防災対策用ガス発電機	購入費	3 0 0 千円

令和3年度 法人事業所の運営報告

1 明星学園・第二明星学園

<運営方針>

「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが高くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行ってまいりました。

<基本方針>

理念・憲章・行動基準

【 憲 章 】

本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード」（本人中心）を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意思決定支援」を実践する、あなたも私も幸せになる場所です。

【 行動基準 】

- ①笑顔で明るいあいさつを、自分から先にします。
- ②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたらすぐに報告し対応します。
- ③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で、意思決定をサポートします。
- ④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。
- ⑤家族や地域に情報発信し、情報共有します。
- ⑥関わるすべての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

<支援方針>

①施設入所支援

- ・「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供
- ・「自己選択」を尊重した意思決定支援の実施
- ・利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援の実施
- ・利用者の希望に沿った旅行実施
- ・余暇活動、地域行事などに積極的に参加
- ・保護者と連携し、保護者会活動が継続、発展するよう協力
- ・利用者が家族と円滑な交流が継続できるよう支援、家庭との懇談会を実施

②生活介護

- ・利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿ったサービス提供
- ・季節感のあるサービスの提供（お花見、秋まつり、餅つき大会、どんど焼き等）

③日中活動の充実

- ・言語聴覚士（ＳＴ）巡回指導、理学療法士（ＰＴ）巡回指導、アート活動、運動療法、音楽療法、アロママッサージ、アニマルセラピー、作業プログラム（生産活動）、ウィークエンドシアターなどの実施

④利用者の希望や要望に応じた、外出、外食、買い物の実施

◎主な事業の実施状況（別紙① 年間報告書参照）

明星学園・第二明星学園

○利用者外出 新型コロナウイルスの影響はあったが、可能な限りドライブ等を実施した。
お花見ドライブ(4月～5月)、マイクロドライブ(6月～12月)など

○利用者旅行（小グループに分かれて実施）

- ・新型コロナウイルス感染の影響で旅行は行わず、代替りの事業を計画。
食事・ドライブ・カラオケ等でお楽しみ行事を小グループで実施。

○療法関係（外部講師）

※1月7日以降は、感染警戒レベルが3以上に引上げとなったため、感染防止対策のため活動は中止。

・音楽療法

〔音楽（歌、楽器）を通して聴覚・視覚への感覚を高め情緒の安定・開放を図り音楽を楽しむことを目的としている〕

74回（4月 8回、5月 8回、6月 8回、7月 9回、8月 8回、9月 8回、10月 8回、11月 8回、12月 8回、1月 1回）

- ・動作法〔臨床動作法の専門講師により実施、弛緩動作、緊張動作のコントロールを学ぶ、動作のやり取りによって意欲を引き出し、心の活動の改善を図る〕

8回（5月 1回、7月 1回、8月 1回、9月 1回、10月 1回、11月 1回、12月 1回、1月 1回）

・理学療法士（ＰＴ）巡回指導

〔心身機能の変化に伴い生活リハビリや車いす等、環境に対する調整などの指導を受け支援に生かす〕

年間10回（毎月1回）※1月7日以降は、個別の案件で実施。

・言語聴覚士（ＳＴ）巡回指導

〔口腔ケア、食事支援等の指導を受け支援に生かす〕

年間10回（毎月1回）※1月7日以降は、個別の案件で実施。

・アート活動

[外部講師によるワークショップを実施。絵画やアート作品の制作を通して自己表現、気持ちの開放を図る]

45回(4月 5回、5月 5回、6月 5回、7月 5回、8月 5回、9月 5回、10月 5回、11月 5回、12月 5回)

・アロマセラピー

[専門講師によるアロマオイルを用いてのマッサージの指導を受け、体と心を癒す。コミュニケーションを深めるために役立てる]

10回(毎月5回、1月のみ2回)

・のびのびムーブ

[外部講師による運動療法により、高齢化による体力減少の防止のため機能訓練を図る]

21回(4月 2回、5月 4回、6月 2回、7月 3回、8月 2回、9月 2回、10月 2回、11月 2回、12月 2回)

・ウィークエンドシアター

2回(5月 1回、6月 1回)

・スポーツレクリエーション

[フラダンス教室]

1回(5月 1回)

○余暇活動

・料理 [わくわく調理室にて実施]

213回(4月 6回、5月 7回、6月 3回、7月 22回、8月 14回、9月 20回、10月 17回、11月 19回、12月 19回、1月 30回、2月 26回、3月 30回)

○主なイベント

・七夕	7/7	・餅つき大会	12/7
・アート夏フェスタ	8/19	・クリスマス会	12/26
・明星きらめき祭	10/24	・どんど焼き	1/15
・秋の遠足	11/10	・節分	2/3
・長野県知的障がい者福祉研究大会	11/12	・ひな祭り	3/3

○各種スポーツ大会等

新型コロナウイルス感染の影響で本年度は未実施でした。

○利用者の自治会活動

「しらかば会」 毎月1回

「なかよし会」(グループホーム自治会) 毎月1回

○地域交流

新型コロナウイルス感染の影響で本年度は未実施だったが、駄科区長から依頼のあった鈴岡城址公園の落ち葉清掃アルバイトに利用者5名が参加。

○施設実習

・飯田女子短期大学：11/24～12/8

・信州豊南短期大学：8/17～8/28、8/30～9/10、11/7～11/20、2/21～3/4

・同志社大学：8/22～8/27

○防災・防犯訓練

・9月1日 地震総合防災訓練の実施。

・11月25日 防犯訓練と飯田警察署から講師を迎えて、取り押さえ訓練を実施。

・3月11日 深夜想定夜間総合防災訓練の実施。

○就職事前研修

・新卒者の事前研修を宙組で3月14日～18日と3月27日～31日で2名、虹組で3月10日～15日で1名実施。

○お別れのセレモニー

6月29日に月組40代男性、3月1日に月組40代女性、3月5日に虹組80代男性の葬儀をおこなう。

○「本当の気持ちと出会うとき」基金関係

・利用者、職員の芸術活動並びに職員の研究活動への奨励

利用者芸術作品3名、職員芸術作品3名、職員研究活動1名に対する褒賞をR4.3月に実施。

◎明星学園利用者及びグループホーム利用者の健康管理と保健衛生

障がいのある方が、そのライフサイクルの中で健康で生き生きとした人生を過ごすには医療との連携が欠かせません。

令和3年度、学園では保健事業として

1. 年に一度利用者の健康診断と歯科検診の実施。

項目：採血(WBC、HD、AST、ALT、CRE、HbALc、TG、T-Chol)

尿(ウロビリノーゲン、潜血、蛋白、糖)

2. 毎月 嘱託医師(伝馬町後藤医院)の往診

3. 飯田市が施行する風疹抗体検査、風疹ワクチン（対象者）
4. インフルエンザ予防接種
5. 抗原検査（利用者全員）
6. 新型コロナウイルスワクチン接種（R3. 6 月、7 月、R4. 2 月）

利用者の健康管理

① 定期健診等

・利用者集団検診	年 1 回	・内科往診	年 2 回
・定期歯科検診	年 1 回	・血圧測定	毎月
・歯磨き指導	年 1 回	・体重測定	毎月
・身長測定	年 1 回	・定期歯科往診	月 4 回
・乳癌検診	希望者		

利用者の多くが疾病をもっています。

② 疾病等の状況

（単位：人）

心臓疾患	6	腸閉塞	1	統合失調症	5
高血圧	18	人工肛門	1	胆のう炎胆石	4
胃潰瘍	3	痛風	3	未熟児網膜症	1
貧血	5	先天性表皮水泡症	1	先天性全盲	6
脳腫瘍後遺症	1	胆癌	1	緑内障	1
脳膜炎	1	乳癌	1	ダウン症	3
くも膜下出血	1	脊椎欠陥	1	白内障	3
脳内出血	1	小頭症	3	視覚障害	7
糖尿病	6	白血病	1	アレルギー	4
バセドウ氏病	1	脳性小児マヒ	14	ソケイヘルニア	1
若年性関節リュウマチ	1	睾丸腫瘍	2	肢体不自由	9
高コレステロール血症	11	てんかん	47		
膝関節炎	2	尿漏れ	1		

利用者の入院人数は増加しました

③ 入院状況

（単位：人）

誤嚥性肺炎	7	腎盂腎炎	1	右膝粉碎骨折	1
左上肢リンパ管炎	3	消化管出血	2	結腸腫瘍	1
蜂窩織炎	1	急性心不全	1	気管支肺炎	1
尿路感染症	1	脱水	2	ソケイヘルニア	1
胆石胆のう結石	1	心不全	1		

令和3年度 24人（令和2年度 15人）

利用者が通院することが増えてきています。

④ 通院（疾病）状況

（単位：延べ人数）

精神科	48	泌尿器科	21
-----	----	------	----

内科	85	整形外科	65
外科	22	脳神経外科	5
皮膚科	30	循環器科	8
婦人科	4	フットケア外来	5
歯科（往診）	243	救急	2
眼科	6	計	544

令和3年度 544人 令和2年度 544人

⑤定期処方者の状況

飯田病院 精神科	68名	定期処方	延べ	546名
清水医院 精神科	2名	定期処方	延べ	12名
飯田病院 糖尿病外来	3名	定期処方	延べ	457名
飯田病院 循環器科	2名	定期処方	延べ	12名
伝馬町後藤医院 内科	39名	定期処方	延べ	18名
飯田市立病院 内科	1名	定期処方	延べ	4名
飯田市立病院 泌尿器科	1名	定期処方	延べ	2名

⑥往診の状況（定期往診以外）

死亡確認 3名

⑦健診結果 要受診以上

尿酸	2		
尿（蛋白、潜血、白血球）	4		
貧血	1		

⑧感染症状況

令和3年度利用者の新型コロナウイルス感染者はなし。

⑨介護の状況

（単位：人）

車イス	19	排せつ介助	76
視覚障害	5	口腔ケア	90
食事介助（全介助）	20	入浴介助	101

今後の健康管理について

⑩令和4年に向けて

- ・50歳以上の男性にPSA（前立腺腫瘍マーカー）を実施するために家族あてに承諾書の作成し、承諾をいただく。
- ・電動歯ブラシを使用して歯肉炎、歯槽膿漏を予防します。
- ・新型コロナウイルスに対する感染対策の実施。
- ・ターミナルケア確認書の取得。
- ・看護師以外の喀痰吸引実施準備。

◎利用者の食生活健康管理

当学園の利用者は年齢、体重、活動の状態、病気などの理由で摂取量が様々なため、献立表を3グループに分けて、総エネルギーを算出したうえで作成している。なお、アレルギー食や刻み食などには必要に応じて対応し、療育の効果を上げている。

施設の利用者の特性として、シンプルでわかりやすい料理を好む傾向にある。そのため不足しがちな栄養素も摂取できるように、新メニューにも積極的に取り組み、食物繊維などを多くとれるような工夫や、魚やレバーなどの臭みのある食品は揚げ調理などを中心に提供している。また、昨年度から取り組んでいる「減塩」で、日本人の目標量とまではいかずとも、健康寿命を維持できるよう心掛けた献立作成を行っている。年度末くらいから、残食も減ってきており、利用者が給食をよく食べていると判断できる。

なお、毎日の献立は、朝・昼・夜と写真を載せたメニューボードを作成し、前日のうちに利用者にわかりやすく掲示している。献立の内容を正確に伝えられており、利用者も楽しみとなっている。

最後に、趣向や特性の違い、病気などの理由で学園の給食を食べられない利用者については、クラスで利用者と相談し、個別で食品の発注を行い、それを給食として提供している。また、そういった方々の栄養計算も行い助言をしている。

<行事食>

季節に合った食事を提供しています。主な行事食は次のとおりです。

日 付	内 容	献 立
5月5日	端午の節句	昼：サラダ巻き・稲荷寿司 茶碗蒸し 天ぷら(えび・ピーマン・ごぼう) 菜の花わさび和え・清汁・奈良漬け 間食：よもぎまんじゅう
8月14日	盆	昼：梅御飯 天ぷら(なす・えび・ピーマン) 大根田楽・きゅうりの粕もみ メロン すまし汁 間食：アイスクリーム
9月22日	秋のお彼岸	おはぎ(あんこ・胡麻・きなこ) 天ぷら(ナス・ピーマン・えび) 大根そぼろ煮・吸い物 ほうれん草お浸し・奈良漬け・ すまし汁
10月24日	明星きらめ き祭(出店)	明星学園のカレーライス 三元豚のかつ丼 栄養士特製唐揚げ

		具だくさん豚汁
11月10日	秋の遠足	松茸風味御飯・唐揚げ・キャベツの千切り・海老フライ・ツナじゃが煮 ウインナー・菜の花わさび和え 黒豆、厚焼き玉子、お茶
12月7日	もちつき大会	おしるこ・お雑煮・大根田楽 ブロッコリーツナ和え・みかん・漬物 牛丼の具（餅食べない人）
12月26日	クリスマス会	エビピラフ or ミートソースパゲティ モミの木型ハバーク・ウインナー 大きめエビフライ・ポテトサラダ・ 厚焼き玉子・菜の花サラダ 唐揚げ・ブロッコリー お茶・ケーキ オレンジジュース・ビール・日本酒（希望者）
12月31日	年越し	御飯・鮪刺身・レタストマトサラダ すき煮・昆布巻き・黒豆・ 年越しそば・きんつば 田作り（希望者）
1月1日	正月	昼：御飯・キス天・ピーマン天・ 鮪刺身・伊達巻・なます・栗甘露煮・ 干し柿・雑煮汁 夕：赤飯・豚生姜焼き・野菜の煮物 数の子・白菜レモン風味和え・味噌汁
1月2日	正月	天ぷらとろろうどん アスパラベーコンソテー オクラなめたけ和え みかん
1月13日	どんど焼き	菜飯・鮭の酒蒸し・厚焼き玉子・五 色なます・雑煮風汁
2月3日	節分	キス天・かき揚げ 太巻き・いなり寿司 野菜の煮物・菜の花わさび和え すまし汁・みかん
2月23日	天皇誕生日	麦ごはん みそ汁 ステーキ 人参のグラッセ・ブロッコリー ナムル・カボチャのいとし煮・ ケーキ
3月3日	ひな祭り	握りずし寿司・（まぐろサーモン・ エビ・たまご・いなり寿司）

		天ぷら(エビ・ピーマン・カボチャ) すまし汁・菜の花なめこ辛子和え
3月21日	春のお彼岸	ぼたもち(きな粉・胡麻・あんこ) えび天・ピーマン天・カボチャ天 キャベツと大葉のポン酢和え ふきの煮物・漬物・吸い物

多くの利用者は、普通の食事を提供していますが、きざみ食等の特別食の提供が必要な方が徐々に増えてきています。

<特別食>

内 容		人 数
主 食	一 般 食	104
	お 粥	3
副 食	普 通 食	91
	粗 刻 み 食	9
	細 刻 み 食	11
特 別 食	アレルギー食	1
	ムース・ソフト食	4

◎広報・職員研修等 (明星学園／第二明星学園)

・広報活動

機関紙発行「プリズム」 1,500部作成 年2回(8月、3月)
配布先 関係機関350 学園関係300(法人役員、保護者、職員)
地域住民(伊賀良地区600、竜丘地区230、地元新井原20)
へ配布

ホームページ運用

学園のホームページを活用し、情報の提供とブログで出来事を掲載

- ・ホームページ: 1年間の閲覧数 10,764件
- ・ブログ: 1年間の掲載数 184件、1年間の閲覧数 49,644件

職員研修等

明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等、研修の機会を設けた。

- ・療育研究会 4回(6/24、7/14、8/3、2/19)
- ・動作法月例会 8回(5/8、6/5、7/3、9/4、10/2、11/6、12/4、1/8)
- ・介護研修 0回(コロナ禍により本年度実施なし)
- ・合同ケース研究会 1回(2/19)

○各委員会（必要に応じ随時開催）

委 員 会	目 的・実 施 事 項	開催回数
運営会議	・通常の運営に関する最高決議機関としての役割を持つ。 ・毎月の行事予定等の日程調整、各クラスの情報の共有、経営に関する課題や緊急性のある問題等を事務局と一体となって検討。（コロナ感染会議）	24 回 都度
人権倫理	・人権侵害に関する書籍、資料を使って知識を深め、障がい者の人権に関する問題について検討。	12 回
ハラスメント	・ハラスメント防止対策や指導等を検討、実施。 ・ハラスメントに関する研修会の実施。	5 回
身体拘束解除	・身体拘束の状況と解除に向けた支援状況の共有。 ・身体拘束に関する法令の変更等の情報共有。 ・支援困難事例、代替え支援等の検討。	3 回
衛 生	・衛生に関する書籍、資料を使って知識を深め、職員の労働安全衛生に関する問題について検討 ・ストレスチェックの立案と結果に対する分析などを行った。	12 回
人材育成	・職員の育成を図るため療育研究会、虐待防止研修、新人研修などの内部研修、県知障協や長野県などが主催する外部研修計画の立案を行った。	12 回
虐待防止	・内部での虐待事案及び疑いの報告があった場合に調査、審査を行い、報告をする。 ・1 件の虐待通報の対応を行った。	4 回
広 報	・「明星学園だより」「ホームページ」及び「ブログ」の編集・発行等広報事業の企画、実施	12 回
食事提供	・給食関係職員（委託業者）と職員が、食事の内容等の検討。	12 回
リスクマネジメント	・福祉サービスを提供する過程における事故の未然防止ヒヤリハット、苦情、事故報告等に適切な対応を行う。	12 回
業務改善	・学園の業務内容を検討し、働きやすい環境に改善業務の効率化を検討し、利用者の支援がより手厚くなることを検討。	4 回
施設整備	・学園の将来に向けて施設整備の検討 各部署から修繕等の協議を行う。 ・居室の個室化、スロープの設置などを協議した。	9 回
防災防犯	・学園の防火防犯に努める。 毎月の避難訓練等を実施し、非常時に備える。	12 回
リクプロ	・求人活動 ・学生の就職に関する活動内容の検討。	12 回

クラウド化	・クラウド導入の検討。	11 回
相談支援 企画運営	・モニタリングの計画、進捗状況の確認。 ・研修、行政からの連絡事項の周知。	12 回

○各係会（必要に応じ随時開催）

係り名	目 的
衣類係	・利用者の衣類寝具等の管理
衛生係	・学園全体の美化、ごみの分別、可燃物搬出
保健係	・利用者の健康管理、
ボランティア係	・ボランティアへの対応、地域との交流
外部販売係	・作業にて製品化された作品、製造品の販売
地域交流係	・小・中学校、高校生、短大生等との交流計画の実施
実習生係	・保育士養成校、介護福祉養成校からの実習受け入れ
動作法係	・弛緩動作や緊張動作のコントロール。 ・体への動きかけを通して、心の改善を図る。

○苦情・虐待・ヒヤリハットに関する事項

・苦情・虐待・ヒヤリハットに関する件数

令和3年度 苦情・事故・ヒヤリハット件数一覧

	クラス	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
明星	月	虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
		苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(1)	0	0	-1
		事故	6(6)	4(3)	1(2)	4(1)	2(4)	4(1)	3(5)	1(3)	8(7)	8(4)	1(3)	0(2)	42	+1
		ヒヤリ	23(22)	36(16)	25(20)	29(32)	31(48)	24(47)	27(37)	30(30)	17(33)	30(35)	18(27)	18(11)	308	-50
	星	虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
		苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
		事故	6(7)	5(9)	4(4)	8(4)	1(8)	5(13)	8(7)	4(18)	5(15)	2(5)	3(2)	1(3)	52	-43
		ヒヤリ	12(34)	13(32)	16(47)	10(34)	9(26)	9(43)	7(21)	8(25)	3(12)	6(17)	2(16)	2(12)	97	-222
	計		47(69)	58(60)	46(73)	51(71)	43(86)	42(104)	45(70)	43(76)	33(67)	46(61)	24(49)	21(28)	499	-315
	第二明星	虹	虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情			0	0(1)	0	0	0	0	0	0	1(0)	0	0	0	1	±0
事故			3(1)	2(2)	1(3)	1(3)	1(2)	1(2)	2(3)	3(2)	2(1)	1(1)	2(2)	2(1)	21	-2
ヒヤリ			20(4)	6(26)	13(0)	1(4)	3(3)	6(4)	6(0)	6(3)	11(0)	12(2)	13(4)	6(3)	103	+50
雪		虐待	0	0	0	0	0	2(0)	0	0	0	0	0	0	2	+2
		苦情	0	0	1(0)	0	0	0	0	1(0)	1(0)	0	0	0	3	+3
		事故	4(8)	11(9)	6(7)	11(6)	4(2)	5(7)	12(8)	10(5)	2(7)	14(3)	1(2)	7(1)	87	+22
		ヒヤリ	12(9)	14(19)	12(16)	7(15)	13(15)	19(17)	10(17)	15(13)	13(9)	22(5)	13(11)	14(6)	164	+12
宙		虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0(1)	0	0	0	0	-1
		苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
		事故	4(6)	2(1)	4(2)	4(1)	3(3)	2(2)	2(2)	1(1)	5(2)	0(1)	2(1)	3(1)	32	+9
		ヒヤリ	7(21)	12(19)	16(16)	18(37)	16(25)	12(13)	15(10)	16(5)	17(5)	31(0)	35(0)	17(0)	212	+61
計			50(49)	47(77)	53(44)	42(66)	40(50)	47(45)	47(40)	52(30)	52(24)	80(12)	66(20)	49(12)	625	+156

・虐待について

虐待通報内容と対応
1 内容 9 月 21 日に女性利用者の入浴時に、男性職員が胸を触っていた。男性職員は、当日の入浴担当ではあったが、女性利用者の入浴担当にはしていなかった。 2 経過 ・ 9 月 28 日 飯田市の現場調査と聞き取り調査 ・ 10 月 5 日 虐待防止委員から、対象職員、クラス職員の聞き取り ・ 10 月 28 日 諏訪市の聞き取り調査が実施された。 ・ 10 月 5 日～12 日 虐待、人権侵害を疑われる案件調査が象クラス職員に聞き取り調査 →10 月 18 日の第 2 回虐待防止委員会で、聞き取り内容の報告と改善策の検討 →11 月 8 日の第 3 回虐待防止委員会にて、改善計画について検討 →12 月 1 日から面談が行われることとなった。 ・ 12 月 18 日に第三者委員会に現状報告 第三者委員から、呼称問題のような面談、研修で対応できるような簡単な問題ではなく、対象職員本人が「記憶にない」と言っていることも含め、これまでにない案件でとてもまずい、今回発覚したことで、この程度で済んだではないかと言える。面談、研修終了後も継続的なフォローが必要と指導を受ける。 ・ 令和 4 年 1 月 12 日 飯田市、諏訪市に改善報告書を提出。

諏訪市については、長野県にも改善報告書を提出する旨を報告すると連絡があった。
諏訪市と長野県から対象職員と対象利用者を同じ空間に配置しないようにと指示があった。

3 対応

○面談…12月から3カ月間、2週間に1回実施。

対象者が14のチェック項目(面談シート)にて、自己評価をする。



面談シートをもとに面談をして、周辺職員の評価を含め、取り組み状況の振返りと次回の目標設定を行う。

○研修…1ヶ月に1回実施

1回目(12月下旬)

- ・「明星学園人権に関するチェックリスト初級編」の記入。
- ・「障害のある方の虐待防止ガイドブック」の感想文を提出。
- ・現在までの想いや状況の共有。

2回目(1月下旬)

- ・「明星学園虐待チェックリスト」の記入し内容に沿って困りごとを共有。
- ・「虐待防止につながるヒント集」(長野県知的障がい者福祉協会HPより)該当事項による学習。
- ・現在までの想いや状況の共有

3回目(2月下旬)

- ・「心のケア＝対人援助技術」(さぽーと優&遊 著)の「行動障害をどうとらえるか」にて学習。
- ・感情表出ワークを通じて、自分や利用者がどのように感情を表現しているかを客観視する。
- ・現在までの想いや状況の共有

※今後も研修を継続的に実施する。

4 処置等について

- ・10月11日 始末書の提出。
- ・22号俸減の降給(34,330円減)、賞与減額50%、夜勤と利用者担任無しの勤務へ変更。
- ・配属クラスを女性利用者が少ないクラスへ異動のうえ、フロア支援業務から外し、食堂配膳業務などの利用者との関りが少ない業務を担当するように処置。

・苦情について

苦情受付内容	対応
6月14日 利用者が家族面会時に肌着を着てなく鼻水が出ていた。 また、施設がフローリング化したが、利用者の部屋に絨毯がないため、固いところで過ごしているのではないかと苦情があった。	6月17日電話にて 肌着については、面会当日も利用者に相談したが「着ない」と断られたためそのままであった。今後は相談しながら着ていただくように対応すると説明した。 鼻水が出ていたことについては、面会前に利用者が泣いていたため出ていたもので、現在症状はないと説明した。 絨毯については、洗えないため、放尿、便で不衛生になってしまったこと、利用者が絨毯を廊下に出してしまうこともあって敷いていなかったことを説明し、納得してもらう。
11月13日の帰省時に上着は着ていたが、その下は半袖のTシャツのみであった。寒くなってきているので、温かい服装をさせてほしいと苦情があった。	準備が整わず、直前になって焦って選んだため、Tシャツのみとなってしまったと説明のうえ謝罪。また、事前準備の方法をクラスで検討。1、2週間前から服を選んでもらい、別の場所に保管し、すぐに準備できる体制をとるようになる。
12月21日に家族から、クリスマス会の学園便りが届かなかった。成年後見人には届いていたため、ネガティブな気持ちになったと苦情があった。	送付リストを確認した際に担当クラスにて、誤って削除してしまったため、連絡後翌日に学園だよりを発送して、謝罪。今後は、学園便りとクラスからの郵送物についても、送付するようにする。
1月4日に成年後見人から、利用者のサービス利用料等の口座振替について、数か月前のものや数か月分をまとめて振替しており、毎月適切に振替されていないため、裁判所への報告が煩雑となっている。適正に処理をしてほしいと苦情があった。	電話にて謝罪と説明をした。また、今後適正に処理ができるように体制の整備と仕組みの構築を行う。

・事故について

事故内容	対応
ベットの隙間から利用者が転落。	ベットを壁につけ隙間をなくす。 ベットの高さを上げたときは、必ず高さを戻し隙間がないか確認する。
特に夜間見えにくいため、失禁等で床が濡れていて転倒してしまう。	気づいたときは、直ちにふき取る。 また、特に見えにくい夜間は、濡れている可能性があると思定し気を配る。

きざみ食が提供されていたが、しっかり切れていないものがあつたため、食べた際に利用者がのどに詰まらせる。	提供前には職員が必ず確認する。また、背部叩打法等対応の再確認をする。
居室の前に箸が落ちていたため、他の利用者が踏んでしまう。	食事のお盆を利用者がひっくり返したため、そのようなときはすぐに片付けて、周りにものが落ちていないか、しっかり確認する。
利用者の古い家電が長期使用による劣化のため、漏電し破損してしまう。	故障しているか普段使用では分からないため、定期的な点検を行う。
移動中に利用者のズボンのすそが下がっていき、踏んづけてしまい転倒する。	ズボンが上がっているかを確実に確認する。また、裾上げ等をして事故防止に努める。
利用者のコーヒーを入れるため、電気ポットで沸かしたが、空焚きであった。	水の補充のルールを決め、チェックリストを改定した。

・ヒヤリハットについて

ヒヤリハット内容	改善策
ヘッドギアのベルトがきつく締まっており、窒息の可能性はある。	必ず決められた箇所での装着を徹底する。また、こまめに首まわり等を確認する。
車椅子で前かがみの姿勢をとることや利用者自身で降りようとするために姿勢が崩れ転倒、怪我の恐れがある。	適正な姿勢に座り直してもらう。降りようとした時は、一旦止めてから支えて降りてもらう。
機械浴で入浴中に座面が外れ、使用中の利用者が溺れそうになる。	すぐに浴槽から救い出す。今後は、座面の確認をしっかりしたうえで使用する。
ベットの柵を外したままであつたため、利用者が転落しそうになる。	食事などで柵を外した際は装着とその確認を徹底する。
利用者が延長コードに足が引っ掛かり転倒しそうになる。	延長コードを動線ではない端に固定する。
利用者がポットのボタンを自分で押して、お湯を沸かしているため、火傷の恐れあり。	ポットを片付け、利用者が触らないような場所に置くようにする。
利用者にふらつきが見られ、転倒の恐れがあつた。	滑り止め靴下の使用し、対象利用者の行動範囲が予測できるため、見守りや手をつないで歩く等の支援を実施する。
タバコがゴミ箱の前や利用者の居室に落ちている。	空き箱を渡す際には中身を確認し、喫煙のルールを再確認した。

・職員のメンタルケア、健康推進

① メンタルチェック

職業性ストレスチェック実施センターに委託し、2021 年 9 月 22 日～10 月 15 日の間、職員のメンタルチェックを実施しました。相談の必要がある場合は、産業医へ本人が直接申し込めるシステムとなっています。

結果 職員 103 名受験 内、高ストレス者 20 名 面接希望者 0 名

② 職員のメンタルの相談機能を持つ専門機関に委託しました。(メンタルヘルスサポート)

「障がい福祉現場における人材確保、人材育成、職場定着は最重要課題である。本協議会は、職場で相談できる人がいない、家族や友達、仲間にも話すことができない、上司に分かってもらえない、部下との人間関係に悩む、相談したいけど秘密が守られるか等の心配に対して、悩みに耳を傾け、一緒に考える場を設けることで、職員のメンタルヘルスケアの推進を図るものとする。」

3 年度 明星学園巡回相談 9 月 7 日 男性 1 名 女性 1 名

③ 健康推進を図るため、フィットネスクラブに法人が加入しています。

＜メンタルヘルスサポート組織＞

飯田下伊那の障がい者関係の 5 施設が加入し「飯伊圏域メンタルヘルスサポート協議会」を設置（平成 27 年 10 月 1 日）

＜相談委託先＞

一般社団法人日本カウンセラー協会 上信越支部長野事務所

経費 相談料 30,000 円 出張費 実費（約 13,000 円） 経費は、5 施設で負担

令和 3 年度 実績

月	相談者数	男性	女性
6 月	1 名	0 名	1 名
8 月	1 名	0 名	1 名
9 月	3 名	1 名	2 名
10 月	10 名	5 名	5 名
11 月	4 名	0 名	4 名
12 月	1 名	0 名	1 名
1 月	6 名	4 名	2 名
2 月	6 名	3 名	3 名
3 月	3 名	2 名	1 名
合 計	35 名	16 名	19 名

※ 所属先、相談内容、職員名は秘密事項であり事務局（学園）ではわかりません。
（令和 2 年度実績 延べ 23 名）

○明星学園職員の年休取得率

3年度 86% (2年度 81%、元年度 79%)

○明星学園職員の産休・育休取得状況

3年度 女性1名(産休・育休) 男性1名(育休)
2年度 女性1名(産休・育休)
元年度 女性2名(産休・育休)

2 グループホーム(北方のぞみハイツ・北方日の出ホーム)

<運営方針>

北方のぞみハイツ、北方日の出ホームは、地域の一員として社会生活が送れるよう支援を実施。

余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指し、本体施設と連携強化を目指した。

グループホームでの生活は、入居者自治組織であるなかよし会を中心に決定し、共同生活する上でのルール、活動内容、行事、環境等に対する意見、要望を月に1回の懇談会にて全員で協議し、決定することが基本となっています。

自分たちで自分たちのことは決めて、実行するという本来の自立と社会参加によって育まれる社会性を更に高めることを目指しています。

<主な事業>

コロナ感染の影響で、外出、交流の事業は行えなかったが、内部で工夫し、新年会・食事会を実施した。また、学園での行事に積極的に参加しました。

入居者自治組織であるなかよし会は、共同生活する上でのルール、活動内容、行事環境等に対する意見、要望を月に1回の懇談会にて全員で協議してきた。

3 指定特定相談支援事業所(明星学園一番星、第二明星学園一番星)

事業所在地 明星学園及び第二明星学園内

<運営方針>

明星学園一番星及び第二明星学園一番星は、次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を実施

- ①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努めた。
- ②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切におこなった。
- ④ 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努めた。
- ⑤ 自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めた。

<相談実績>

明星学園一番星	対象者 68 名（第二明星学園入所者、通所者及びグループホーム入居者） 職員 7 名 モニタリング 69 件（更新）サービス利用計画 37 件 区分認定調査 6 件（令和 3 年度）
第二明星学園一番星	対象者 40 名（明星学園入所者及び通所者） 職員 5 名 モニタリング 54 件（更新）サービス利用計画 22 件 区分認定調査 22 件（令和 3 年度）

2 明星保育園

事業報告 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

1 保育の充実

① 保育理念の実現

- ・ 保育理念実現に向けて保育内容、カリキュラム、行事の見直しと、園内外における環境の見直しを行った。また、こんな時だからこそ、地域や保護者に対して更なる情報発信を充実させることで、園の現状を共有し協働的な関係を深め、子どもの生活や育ちをみんなで支えていくように進めた。

② 一人ひとりを大切に ゆとりのある保育の実現

- ・ 行事の為の保育展開ではなく、ゆとりをもったカリキュラムの立案を心掛けた。また、細かな行事は、子どもの育ちに必要な体験活動と捉え、子ども達を信じて任せる保育を展開した。子どもの「やりたい」「こうしてみたい」を大切にし、時間・空間・心にゆとりを持つように心掛けた。活動に入りにくい子どもへの配慮としては、安心する居心地の良い場所作りに配慮した。
- ・ 未満児の砂場を移設し、テラスから砂場までの距離を短くした。また、安全に落ち着いて遊びこめる空間の確保をした。

③ 子どもたちの気持ちを一番に考え、保育士も楽しめる保育

- ・ 未満児クラスでは、個々のお腹がすいた、ご飯が食べたいという気持ちを大切に食事が始められるように、テーブルごとおひつや鍋を用意した。それぞれのテーブルで配膳をすることで、本人の気持ちを尊重し、食べられる量やおかわりを聞きながら、家庭的な落ち着いた雰囲気の中でゆったりと食事をする事が出来る環境を整えた。
- ・ 朝の戸外遊びの時間を活用して、活動のグループを作らず、行きたい子どもの気持ちを優先し畑などに出かけた。帰園後、他の子にも楽しかった様子を伝えていくことで、行

ってみたい気持ちを育んだ。

- ・コロナ禍で外部講師を依頼したり他園に見学に行くことが出来ない中で、園で資料となるテキストを用意して、園内研修の充実を図った。会議・研修等で保育のモチベーションアップや、互いに良かったところを認め合い伝えるしくみを作った。

④信州やまほいく認定園としての取り組み

- ・自然の魅力について、園庭環境や玩具を通して未来を創る子ども達へ発信している。例えば、乳児期から五感をすべて使って気持ちいいと感じられる「木製の玩具」への見直しを行った。
- ・異年齢の関りの一つとして「畑プロジェクト」を継続した。畑の水やり草とりを行い、手間暇かけることで収穫の喜びを感じている。また、年長児は、地域のお米博士(村澤さん)の田んぼを借りて米作りを行い、育てた稲を自分たちで刈ったり、機械を使って刈る様子も見学した。トウモロコシ作りでは、台風の被害などを受け自然の厳しさを知ることとなった。何れも、クラス便りやブログなどで配信することで、休日や降園途中に保護者が子どもと一緒に畑や田んぼの様子を見に行くなど、関心の高さが伺えた。畑で採れた作物は、子ども達が下処理をして自身で調理し食したり家に持ち帰り調理してもらうことで、家族と一緒に喜びを共有でき食育にも繋がった。
- ・散歩で草木の生長や田んぼの変化、小さな生き物の発見など季節の移り変わりを肌で感じる事ができた。田んぼで見つけたおたまじゃくしを飼育し、カエルに成長していくまでの様子を観察したり、カマキリやカタツムリを飼育しながら命あるものとの付き合い方を学んだ。
- ・はだし保育の実践、にこにこ山でのウォータースライダー、わくわく山での栗拾い等を行った。
- ・学園の畑やわくわく畑で芋ほりを行い、子どもたちが散歩などで集めた落ち葉や焚き木、モヤを使って焼き芋をした。この体験をきっかけに、玉ねぎ・ナス・トマト・みかん・ホットケーキ、五平餅、焼きおにぎりなど、子どもたちが焼いてみたいものを出し合って実践した。また、焼きあがるまでを観察し食すことで、味の変化を確認できた。
- ・にじぐみで脱穀した粳を、すり鉢やテニスボールを使用して粳すりを行った。粳殻を除去し、玄米になるまでの地道な工程を体験することができた。
- ・地元の農家さんから頂いた渋柿を調理が中心になって皮むきを行いつるし柿にした。子どもたちは、皮をむく様子を見学し「吊るす」過程や、時々「揉む」工程を手伝うことで、柔らかく甘く美味しい柿になることを学んだ。

⑤外部講師による体験活動 (令和3年4月～令和4年3月)

活動名	講師	対象児童	実施数(回)
-----	----	------	--------

リトミック	熊谷暁代	年少・年中・年長	8
絵画教室	桐生好子	年少・年中・年長	7
運動遊び	牧内隆雄	年少・年中・年長	4

⑥食事対応

(1) 給食検討委員会（実施回数：幼児、未満児それぞれ毎月1回）

- ・栄養士と保育士とで、給食日誌や検食記録簿などの振り返りを行い、反省に基づいて検討をしている。保護者の要望も取り入れながら、園児の個々の状態に合わせた食事の提供を心がけた。また、新しいメニューの考案や各地の郷土料理を積極的に取り入れ、家庭の事情やコロナ禍で遠出ができない子ども達に対して、食を通して各地の特色に触れてもらう等の工夫をした。
 - ・新メニューは、給食検討委員会で必ず試食し子どもの嗜好も含めて検討し提供した。
 - ・旬の食材に冬野菜を取り入れた。行事食については、どのように提供していくのかクラス主任、栄養士で検討を重ね、栄養士の意図を保育士が子どもたちに伝えていけるように連携をとった。
- (2) 長時間保育園で生活をする子ども達にとって、おやつの時間を楽しみに待っている様子があったため、延長保育のおやつを手作りに変更した。
- (3) 0歳児の離乳食担当調理師が、保護者と打ち合わせをしながら月齢に合わせてきめ細かな対応をした。
- (4) 誕生会、子どもの日、七夕などの行事食は、季節感を取り入れて特別な日であることが感じられるように配慮をした。また、保育士と連携し、習わしや文化について食を通して感じられることにも配慮した。
- (5) 嗜好の偏りがある子どもには、一部献立の変更をするなどの配慮をした。
- (6) 子どもたちが育てた夏野菜を、旬の野菜としてメニューに取り入れた。自分たちで育てた野菜は、苦手な子どもでもおかわりをするくらい食が進んだ。
- (7) 地元農家さんの野菜、明星学園の畑やわくわく畑で収穫したさつま芋、保育園の手作り味噌など、地元野菜を多く取り入れ地域の味を楽しんだ。また、子どもたちが手伝って完成した干し柿を昼食時に提供した。
- (8) 収穫祭では、収穫した野菜を使って年長児がカレー作りをした。収穫の喜びと共に、感謝の気持ちを持って味わうことが出来た。

⑦個別の配慮、支援が必要な園児への対応

(1) 個別支援計画の立案

集団・包括的な視点をもって、記録による個別指導計画を立案し、それに基づく実践の検討を行った。学びの物語(LS)を活用した記録から、子どもの学びが抽出され保育

の再構築がされている。

(2) 飯田市障がい児保育事業

申請時期	継続児	新規申請児	合計
8 月	5 名	5 名	10 名

⑧家庭との連携、保護者支援

(1) クラス便り、ブログ、コドモンアプリによる連絡帳、インスタグラムによる配信により、仲間との遊び、友達との関係、活動の様子など写真を通してわかりやすくリアルタイムでコンスタントに保護者に伝えたことで、園の行事など思うように行えない現状がある中でも共有できた。

(2) コドモンアプリにより、コロナ禍で保護者が参加できない行事の様子や、子どもたちの表情を配信し家庭と共有している。また、コロナ禍により長期の登園自粛期間中に自宅の生活を少しでも充実してもらえるように、コドモンアプリでの栄養士によるおやつレシピの紹介や、保育士による工作やおたのしみ動画などの配信を行った。家庭保育の不安やストレスは、園長が対応した。

・ホームページアクセス数（令和4年3月31日現在 154,291回）

・ブログ（令和3年4月～令和4年3月）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
掲載数	4 回	6 回	6 回	5 回	5 回	5 回
アクセス数	1,868 回	2,059 回	2,235 回	1,842 回	1,641 回	1,843 回
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
掲載数	9 回	9 回	4 回	1 回	2 回	1 回
アクセス数	2,612 回	2,093 回	1,501 回	1,477 回	681 回	1392 回

・インスタグラム(5月12日開設)

(3) 個人面談（4月：年少クラス、6月：年長クラス、7月：年中クラス）

家庭と保育園とで情報交換し、子どもの姿を共有することで、今後の保育や支援に活かしていく。特に虐待については、他機関に繋げ定期的な面談を行っている。

(4) 保護者の就労支援

・延長保育利用状況

(延べ人数)

月	標準利用時間	短時間・標準時間延長		合計
	7時30分～8時	短時間	標準	
4 月	182	35	960	1,177
5 月	169	42	846	1,057

6 月	209	57	1, 100	1, 366
7 月	165	33	1, 275	1, 473
8 月	156	26	1, 224	1, 406
9 月	180	17	1, 128	1, 325
10 月	202	71	1, 410	1, 683
11 月	179	76	1, 457	1, 712
12 月	177	20	1, 457	1, 654
1 月	136	34	1, 457	1, 627
2 月	184	26	1, 316	1, 526
3 月	237	37	1, 302	1, 576

(5) 卒園児保護者との面接

合計：3 件

月	回数	面接対応者
5 月	1 回	園長
6 月	1 回	こども家庭応援センター心理士・園長
9 月	1 回	園長
10 月	1 回	園長

(6) 保護者との面談

面談月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
面談回数	4 回	3 回	2 回	15 回	8 回	5 回	3 回	16 回	2 回

⑨危機管理（避難訓練、防犯訓練、交通安全教室）

(1) 避難訓練

・毎月施行し、年 12 回実施。その都度内容を変えて計画に基づき実施している。

(2) 防犯訓練

・年 3 回施行（5 月、10 月、11 月）

日 程	内 容
5 月 31 日	総合訓練（不審者が園周辺に徘徊しているという想定で避難訓練を実施。）
10 月 23 日	不審者侵入想定訓練（通報・さすまたの使用方法）
11 月 26 日	総合訓練（不審者侵入・通報・さすまたでの取り押さえ）

(3) 事故報告（令和 3 年 4 月～令和 4 年 1 月）

区 分	ひっかき	かみつき	打撲	その他
未満児	5	14	4	6
幼 児	0	4	4	3

その他の事例内容(令和3年4月～令和4年1月)

区 分	発生日時	事故内容	緊急 対応	その後の対応
乳児 (1歳児)	4/13(火) 9:30	保育室で玩具を持ち立ち上がる。バランスを崩して尻もちをついた。持っていた玩具で口を打ちつけ上唇と歯茎の境目を切る。	大鹿 歯科	玩具を持ち立ち上がる、歩き回ることが予想される場合には、職員の立ち位置の確認と声掛けを行う。
幼児 (3歳児)	6/15(火) 8:10	未満児砂場付近で遊んでいて、手にとまった蜂を指で摘まもうとして、右手親指を蜂に刺される。	回生堂 皮膚科 クリニック	アナフィラキシーを避けるため、戸外では薄手の長袖着用する。半袖になる場合は、家庭で虫よけの薬など事前に配慮を願う。 (専用のカゴに長袖服・虫よけスプレーを用意)
幼児 (3歳児)	7/13(火) 10:10	遊戯室で運動遊びの際に転倒し、右肘の痛みを訴える。(右肘の骨のずれ)	外科 杉浦 整形	落ち着いて活動するように声を掛ける。
幼児 (5歳児)	7/29(木) 17:30	延長保育中に、雲梯で遊んでいて手を滑らせ顔面から落ちる。	整形外科 おおぎ 整	雲梯の握り方をクラス内で確認する。
未満児 (1歳児)	10/1(金) 9:15	ぬいぐるみを抱き歩きながら遊んでいて、転倒し肘を痛がる。	外科 杉浦 整形	保育室での職員の配置を再確認する。
未満児 (1歳児)	10/5(火) 17:30	にこにこ山から下りる途中で転倒し、両手を地面に着く。その後左手を使わない。	整形外科 すずき 整	にこにこ山に登ったら地面に下りるまで見守りをする。
幼児 (5歳児)	12/27(月) 13:30	園庭でぐるぐるじゃんけんをしている時に転倒し、右足首をひねる。	整形外科 おおぎ 整	足元に注意して、周りの様子も見るように伝える。
未満児 (1歳児)	2/14(月) 15:50	転倒した際、他児の指が口にあたり、上唇と歯茎の筋を切る。	浦野 歯科	保育士配置の確認をする。

(4) ヒヤリハット件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
未満児	7	7	5	8	7	5	6	6	4	7	5	4
幼 児	6	5	5	4	4	3	4	5	4	4	3	3

その他の事例内容（令和3年4月～令和4年3月）

区 分	発生日時	事故内容	対 応
未満児 (1歳児)	5/7(金) 11:30	食事を終えてエプロンを外し立ち上がった時に、ひじ掛けの間に足が入り引っかかる。	食べこぼしを片付ける際に、子どもの足元を確認する。
幼児 (4歳児)	4/21(水) 15:15	テラスにカバンを取りに行く時、保育室出入口の段差をジャンプし、友達とぶつかりそうになる。	保育室から出る際に、ひと呼吸おこよう、目印として白テープを貼る。
未満児 (2歳児)	7/13(火) 10:00	おやつ後に椅子を片付け、積み重なった椅子の上に座ろうとし転倒しそうになる。	危険なことを伝える。
幼 児 (5歳児)	8/23(月) 12:30	昼食後の自由遊びの際にけん玉をしていて、玉が友達の頭付近をかすめる。	夢中になり距離が近くなることがあるので、離れて行うように声をかけたり、距離をとれるスペースを確保する。
未満児 (2歳児)	10/28(木) 10:44	園庭でフープに入って遊んでいる所に、他児が入ろうとまたぐ。入れてあげるためにフープを持ち上げた時に、他児がバランスを崩し転倒しそうになる。	入れてあげる操作がうまくいかなかった。子ども同士の関わりが増えてきたことで、予想される危険も変化しているので、職員配置に配慮し声を掛け合う。
幼 児 (3歳児)	2/10(木) 11:00	遊戯室でトランポリンを使って複数人で遊んでいた。トランポリンの上で寝転び、他児が踏みそうになる。	トランポリンは、複数人で使用しない。職員が必ず傍に付き目を離さない。
未満児 (1歳児)	3/18(金) 16:06	ペットボトルマグネットをステンレス棚に付けてあった。垂れ下がっているミニペットボトルを、バットに見立てたペットボトルで打ちたくなった。	打つ前に声掛けをしたことで、他児に当たることなく未然に防げた。子どもの興味がどこに向くのか想像し、環境設定の見直しをする。

(5) 苦情処理

事例1：園の方針を変えてほしい

月日	内容	対応
4月	○衣類に付着した便や尿の下洗いをしてほしい。 ※仕事から帰ってきて、臭くて気分が滅入り不快。着ているもの全て、園で洗ってほしい。園で汚すのだから園で洗うのが当然ではないか。	○園の方針は、集団生活における二次感染を防ぐことを優先に考えている。入園のしおりに記載しているとおりであることを伝えた。 ・感染防止を考慮し、5月より園での使用済みおむつは、業者委託で処理をすることにした。希望者は、園児1人につき200円の処分料を徴収。
6月	○下洗いしないのなら、排便をオムツから漏らさないでほしい。	○便秘気味という理由で、下剤の乱用が懸念される。この日は、浣腸して来たようだが、その報告は受けていない。浣腸して登園した時には、園に報告してほしいことを伝える。平日は、家庭での排便はほとんどなく、概ね保育園で1日数回にわたり排便がある。また、休日に全く排便がないことも、不可解である。子どもの排便が母親のコントロール下にあることは明らかであり、ネグレクト傾向と判断し、以後こちらで排便の記録を記入することにした。 ・鼎自治振興センター保健師に連絡。検診での聞き取りを依頼。 ・飯田市子育て支援課への報告。
7月	① 排便漏れの下洗いをしてほしい。 ② 女兒は、セパレート水着を着用すべき。	○第三者委員同席のもと、話し合いのを行った。 ① 個人用バケツとハイターを用意し、便で汚れた物は、そこに漬けて持ち帰っていただくことにした。 ② セパレート水着を自分で着脱することは困難である。園では、自分で着替えて直ぐに遊びだしたい子どもの気持ちを優先していることを伝え、現行通り水泳パンツの着用をお願いした。

事例2：対応への不満

7/24(土)	①水遊びについて ・水遊びを「×」にしてあるのに、子どもがやりたくなかったからという理由でやらせた。 ②泥汚れについて ・衣服に泥がたくさん付いていたり、靴が汚れて濡れたままで返される。 ③ 持ち物の入れ忘れ ・エプロンや水筒などの入れ忘れが多く、忘れても連絡がない。エプロンは、1日放置するとカビがつくので悲しい。 ・担当保育者の気遣いがない。自分との相性が悪いのかと思う。	・体調にかかわることなので、保護者の意向を優先する。 ・泥を落として持ち帰らせていたが、確認不足もあった。再度確認し徹底する。 ・最終確認をする担当者を決めた。 ・エプロンの汚れが酷い時には、酸素系の漂白剤で対応する。 ・忘れてしまった場合は、口頭や連絡帳、電話で直ぐに連絡を入れる。必ず園の電話を使用し、相手に園からの連絡だと分かるように履歴として残すこと。
---------	--	--

事例3：対応への不満

12/15(水)	① 登園時に着用していたレギンスを履いていなかった。カバンの中にも入っていなかった。 ・着やすさ、肌触り等を考慮して購入した物なので、履かせてほしい。下半身が冷たくなっていた。 ・脱がせたレギンスを持ち帰ることを忘れていた。 ②防寒対策として ・レギンスやタイツの着用はいけないのか。 ・レギンス着用を娘が嫌がっているのか。 ・レギンスを着用することで、トイレトレーニングの妨げになっているのか。 ③毎日のように忘れ物がある	・気候に合わせて着脱している。特に午後は、室内活動が主になるため食事前の排泄時に脱がせ、寒くなる前に履かせていた。この日は、着用せず帰宅させてしまい、且つ持ち帰らせなかったことを謝罪する。 ・防寒対策であり、問題ないことを伝える。 ・着用を嫌がることはない伝える。 ・着脱は、自分で行えていることを伝える。 ・午睡後とおやつ後に、毎日クラス主任がロ
----------	--	--

	・再発防止を検討してほしい。 (紛失の不安がある。)	ッカーとカバンの中の確認をする。
--	-------------------------------	------------------

2 行事の主な内容と実施状況

行 事	日付	実施状況
親子レクレーション	5/10	親子遠足の代替行事として、クラスの親睦を図ると共に親子で楽しめた。
さつま芋苗植え 年長児：明星学園 の畑 その他のクラス： わくわく畑	5/12	年長児は、メンバーさんとの交流は持てなかったが、学園の職員さんに教えていただき、保育園以外の方に関心を持つことができた。また、生長を期待し楽しみに待つことができた。 他のクラスは、異年齢で関わりながら苗植えを行えた。
夏祭り	7/16	七夕や地域の祭りに興味を持ち、手作りゲームなどそれぞれのコーナーで楽しみ、友達や異年齢の関わりを深めることができた。
栗拾い体験(年長児) 場所：わくわく山	9/13	身近な秋の自然に触れながら山を登り、友達と一緒に散策をしたり栗拾いを楽しんだり貴重な体験ができた。
運動会	10/8	自分達で体験してきたことをもとに、運動会への取り組みを行った。出来栄え重視でなく、仲間と協力して作り上げた運動会は、その後の力のもととなった。
さつま芋ほり	10/13	自分たちが苗植えをしたさつま芋を収穫する喜びを味わい、友達と協力しながら芋ほりをすることを楽しめた。
収穫祭	11/8	異年齢でイメージを共有し、おみこし製作などを共に行う中で関わりを深められた。収穫した喜びと、食すことのできる嬉しさと感謝の気持ちを持つことができた。きおいを通して地域の方に親しみを持ち、繋がりを深められた。
もちつき	12/2	年長児は、臼と杵でもちをついたり丸めたりする経験をした。他クラスは、もちつきの雰囲気を知り、ついたり丸めたりする様子を見ることで、年長クラスへのあこがれを持てた。
クリスマス会	12/24	日常の遊びや生活経験を生かし、自分たちで考えたクリスマス会を楽しめた。ツリー製作は、異年齢で行い思いを設計図で表したグループがあった。平面的なツリーや3Dで表現したツリーなど、バリエーション豊かなツリーが完成し満足できた。

お楽しみ会	3/8.9	コロナ禍により、保護者を招待してのおたのしみ会は実施できなかった。クラスの集大成として、コドモンアプリでクラスの取り組みを動画配信し、保護者の方に視聴していただいた。
卒園式	3/25	保護者2名の参加に限定し、在園児や来賓の参加は取りやめにした。年長児は、落ち着いて最後まで式に参加できた。

3 地域交流、地域の子育て支援

① 一時預かり保育（令和3年4月～令和4年3月）

月	利用人数	延べ利用日数		
		4時間未満	4時間以上	合計
4月	1	2	0	2
5月	0	0	0	0
6月	1	0	1	1
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	1	1	0	1
11月	1	1	0	1
12月	1	1	0	1
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	4	2	2	4

② 未就園児交流（おひさまくらぶ）

コロナウイルス感染予防のため人数制限(5名)した。

実施日	主な内容	講師	参加数(人)
7月20日(火)	ミニ夏祭りを楽しもう	—	5
10月26日(火)	さつまいも掘り・パネルシアター	—	7
11月18日(木)	和太鼓演奏・手作り楽器・手作りおもちゃ・園庭で焼き芋	—	9
12月23日(木)	お兄さんお姉さんによるミニクリスマス会	—	9

③ 世代間交流

実施日	主な内容	講師	参加数(人)
5月11日(火)	北方の空さんよりプレゼントを受け取る	—	園児：2
10月26日(火)	○北方の空		入所者：2

	遊戯披露	—	職 員： 2 園 児： 30
11 月 10 日(水)	○北方の空 パネルシアター披露、プレゼント渡し、 触れ合い遊び・ボール遊び	—	入所者： 2 職 員： 2 園 児： 30
11 月 15 日(月)	○みつばさ 歌発表、パネルシアター、触れ合い遊び	—	入所者： 8 職 員： 5 園 児： 18
11 月 24 日(水)	○みつばさ 和太鼓演奏、ふれあい遊び、 プレゼント交換	—	入所者： 8 職 員： 5 園 児： 18

4 職員研修、職場委員会（令和3年4月～令和4年1月）

① 委員会

委員会	目的、内容等	開催回数
職員会	・ ゆとりある保育とは ・ コロナ禍についての配慮事項 ・ 夏祭りの取り組みについて ・ 「保育理念、保育方針等」について 対象者：中途採用職員 ・ 「保育の内容に関する全体的な計画」 対象者：中途採用職員 ・ 「保育者主導にならない運動会の組み立て方」を考える ・ 「一人ひとりを大切にゆとりある保育」を考える ・ 令和4年度の行事について、どのように考えればいいのか？ ・ 自粛期間延長に伴う行事の方向性 ・ 「入園のしおり」内容の見直し ・ 令和4年度年間目標について	12
クラス主任会	・ 土曜保育の環境設定について ・ クラス運営、畑作物、異年齢活動の方向性と取り組み ・ 子どもの捉えと個別の指導計画の記入方法について ・ 働き方改革の具体的な取り組みと理解 ・ 個別支援、クラス作りの課題を中心に話し合い、共有している。 ・ 収穫祭	23

	・給食食材チェック表の確認・作成 ・秋の大運動会について ・クリスマス会について ・入所面接、一日入園の検討 ・お楽しみ会の検討 ・誕生日会の検討	
クラス会	・クラスづくり、個別の配慮、保護者支援等、課題に対して要因を探り、問題解決を図り、クラス主任会へ繋げる ・個別支援、環境設定、クラスづくり、保護者支援、振り返り、行事、保育内容等	206
給食検討委員会	・通年の献立、改善点、新メニュー ・食育の日及びご当地メニューについて	11
業務改善委員会	・ノー残業デー(4月の勤務時間について) ・ノー残業デーについてアンケート ・コドモン、ICT化についてアンケート ・職員休憩について ・ノー残業デーアンケート結果について課題と改善策 ・ノー残業デー、平日勤務終了後の時間外申請 ・行事前の準備、状況確認、時間外申請 ・タイムカードの確認 ・定時退勤定着方法、年休取得、公休、年休時の職員代替 ・雪かきの対応 ・2月の目標 ・退勤時間について再度見直し ・3月の目標について	13
防火防犯委員会	・昨年度の反省と今年度計画の周知・避難訓練後の振り返り・クラスの非常用リュックの中身確認と見直し・緊急連絡カードの確認 ・土砂災害避難マニュアルの作成 ・土砂災害時の駐車場活用について ・防犯用品の確認、購入 ・「安全・安心なまちづくり活動公募配分」申請購入品 ・令和4年度年間計画作成	10

衛生委員会	・昨年度の反省と今年度計画の周知・嘔吐物処理の講習日程と方法・救急箱やクラスの救急袋見直し ・嘔吐物についての講習後に反省に基づく課題の割り出し・園内の熱中症対策・手洗いチェッカーの計画と実施方法・6月の虫歯の日、6月の保健だよりの内容について ・新型コロナウイルス感染防止対策不随事項 ・飯田市新型コロナウイルス感染症対策無料簡易検査キットの活用について ・感染症対策について ・嘔吐物処理の研修計画 ・手洗いチェッカー使用方法 ・歯科・内科検診後の配布物、保護者対応 ・保育所における「アレルギー疾患生活管理指導表」 ・簡易検査キット振分け ・感染症発生時の報告書について ・令和3年度の振り返りと令和4年度の年間計画の作成	13
人材育成委員会	・園内研修講師と内容の確認 ・園内支援委員会の始動 ・学びの物語による子どもの姿の記録・評価について ・新任職員研修 ・外国籍の家庭への配慮(チェック表を用いて) ・「絵本の世界への誘い」研修 ・「よい歯でよく噛みよいからだ」研修 ・包括的な記録による個別指導計画 ・保育実習における保育所、施設の指導内容、体制等	10
人権倫理委員会	・5月人権研修、虐待について ・園内研修について ・メッセージ掲示板、不適切な保育に関する対応について ・不適切な保育に関する対応について ・虐待セルフチェックリスト8月まとめ ・8月虐待セルフチェック集計より ・園内研修に向けて ・虐待セルフチェックからの10月の目標 ・人権チェックの内容追加 ・虐待セルフチェックからの月の目標	13

	・ 人権チェックの内容追加 ・ 目標を掲示する効果、振り返り ・ クラスごとの振り返り、まとめ ・ 各クラスでの振り返り ・ 改善案などを全職員で共有する方法	
リスクマネジメント委員会	・ コロナ対策と対応について内容の確認 ・ 散歩及び園外保育に必要なもの ・ プール活動の配慮事項 ・ 保育施設でのプール活動、水遊びの事故を防ぐための職員研修について ・ 新型コロナウイルス感染防止対策不随事項 ・ 運動会における注意事項 ・ 飯田市新型コロナウイルス感染症対策無料簡易検査キットの確認 ・ 新型コロナウイルス「新しい生活様式」の見直し ・ 雪かきの対応、手順、場所、道具 ・ 職員、年末年始休みの過ごし方 ・ オミクロン株流行について ・ 散歩マップの見直し	13
広報委員会	・ SNS の活用について ・ 保護者や地域の方への発信方法 ・ ポスター考案 ・ SNS での個人情報について ・ インスタグラムの投稿スケジュールや内容について ・ インスタグラム保護者の反応 ・ ポスターの配布枚数・保育園でPR動画の作成 ・ PR 動画、ポスターについて ・ PR 動画撮影、編集について ・ パンフレットのデザイン考案 ・ 入所説明会使用の動画について ・ 11 月中旬以降のポスター案 ・ ポスター配布について ・ インスタ投稿内容 ・ 学生向きの動画・ちらし ・ DVD とチラシの郵送について ・ HP の写真選出(春夏秋冬)	16

② 園内研修

内 容	講師等	日 付	参加人数
特別な配慮を必要とする子どもの見方、捉え方と個別の指導計画(リモート研修)	齋藤勇紀	4/17	17
包括的な記録による個別指導計画の立案に基づく実践の検討	齋藤勇紀	6/12	17
包括的な記録による個別指導計画の立案に基づく実践の検討 2	齋藤勇紀	8/21	20
包括的な記録による個別指導計画の立案に基づく実践の検討	齋藤勇紀	10/30	22
包括的な記録による個別指導計画により明星保育園の保育の質は向上したのか検討	齋藤勇紀	12/25	18
救命救急実技講習	伊賀良消防署員	4/7 4/8	15 14
嘔吐処理講習	1G(山下・竹内) 2G(竹内・順子)	4/23 4/26	4 4
プール水遊びについて	関島美波	7/26	13
感染防止対策について	主任・副主任	8/26	11
絵本の世界への誘い	松永幸代	10/2	20
よい歯でよく噛みよいからだ	安富和子	11/20	14
嘔吐物処理実技研修	衛生委員会(責任者)	11/30	21
手洗いチェッカーの使用方法	衛生委員会(責任者)	12/8	10
子どもの基本的生活習慣援助マニュアル ・ 育児担当制による乳児保育 ・ 育児担当制による乳児保育実践編	——	11/11 11/12 11/18 11/19 11/21 11/24 11/25 11/26	コロナ禍により中止

③職員のメンタルケア、健康推進

・ストレスチェック

期 間	令和3年5月17日～5月25日
委託先	中部公衆医学研究所

※相談の必要がある場合は、本人が直接申込み中部公衆医学研究所による面接指導を受けることができる。

受診者(人)	未受診者(人)	実施率(%)	高ストレス者(人)	面談希望者(人)
30	0	100	5	0

結果：5月に調査を実施したことで、働き始めで間もない新卒2名は、不安が高い数値になった。他3名は、夫婦間など家庭でのストレスによるものであった。来年度は実施日程を秋頃に計画する予定。

○第三者評価

評価機関	しなの福祉教育総研
実施期間	・9月1日～10日 ・11月16日(訪問調査)
対象者	保護者、職員

○明星会 社会貢献事業

○学園

- ・つなぐ事業（飯田市後援）
学生に地元企業をPRし、大学等卒業後、地元にもどり就職するようにすることを目的に参加企業を募っている。学園も事業に参加をしている。
- ・合同ケース研究会の主催
障害者のケース研究を明星学園が主となり、障害者施設、児童施設、医師養護学校等一般の興味がある方等広い範囲の人々で障害者のケース検討会を実施している。
- ・地区のゴミ当番
学園の地元、新井原地区のごみ収集日に、学園職員が立ち会い当番を受け持つようにしている。
- ・地区浄化槽組合の環境美化
毎年、地区の浄化槽周辺の美化を組合の当番に従って参加している。
- ・障害者雇用の推進
身体・知的障がい者の雇用に努めている。法定基準はクリアしています。
現在5名 また、難病指定の方を雇用している。

○保育園

- ・卒園生の集い(コロナ禍の為、中止)
- ・ふるさと県ふれあい広場文化祭参加
年長児が和太鼓の披露をした

- ・つなぐ事業（飯田市後援）
高校生に授業支援への協力参加。
- ・園周辺のごみ拾い
年長児中心に行った。

◎資料

1 法人の運営する事業所の概要

(1) 明星学園

ア 所在地	飯田市駄科2250番地		
イ 事業所の種類	障害者支援施設		
ウ サービスの種類	生活介護サービス	定員 40 名	現員 39 名
	施設入所支援サービス	定員 40 名	現員 39 名
	短期入所サービス（併設型）	定員 4 名	現員 名
エ 建物 延べ床面積	1, 842㎡	オ 敷地面積	6, 015㎡

(2) 第二明星学園

ア 所在地	飯田市駄科2191番地1		
イ 事業所の種類	障害者支援施設		
ウ サービスの種類	生活介護サービス	定員 68 名	現員 72 名
	施設入所支援サービス	定員 60 名	現員 61 名
	短期入所サービス（併設型）	定員 1 名	現員 名
エ 建物 延べ床面積	3, 673㎡	オ 敷地面積	7, 156㎡

(3) 明星保育園

ア 所在地	飯田市鼎切石3928		
イ 事業所の種類	保育所		
ウ サービスの種類	保育所	定員 120 名	
	未満児保育	定員 一名	
	延長保育	定員 一名	
	一時預かり事業	定員 一名	
エ 建物 延べ床面積	1, 105㎡	オ 敷地面積	2, 680㎡

(4) グループホーム（北方のぞみハイツ、北方日の出ホーム）

サービスの種類： 共同生活援助 2棟			
	（北方のぞみハイツ）	定員 4 名	現員 4 名
	（北方日の出ホーム）	定員 6 名	現員 6 名
・北方のぞみハイツ	飯田市北方68番地7	延べ床面積	183.2㎡
・北方日の出ホーム	飯田市北方61番地7	延べ床面積	171.4㎡

(5) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類： 特定相談支援事業所			
	明星学園一番星	契約利用者	68 名
	第二明星学園一番星	契約利用者	40 名

所在地は（建物、敷地）明星学園及び第二明星学園内

2 事業所毎の職員体制

明星学園		3年度		2年度	
園長	1名	園長	1名	園長	1名
次長	1名	次長	1名	次長	1名
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
主任	2名	主任	2名	主任	2名
生活支援員	21名	生活支援員	19名	生活支援員	19名
支援員（パート）	9名	支援員（パート）	10名	支援員（パート）	10名
事務員	1名	事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名（兼務）	栄養士	1名（兼務）	栄養士	1名（兼務）
パート	5名	パート	5名	パート	5名
計	43名（兼務2）	計	42名（兼務2）	計	42名（兼務2）

第二明星学園		3年度		2年度	
園長	1名（兼務）	園長	1名（兼務）	園長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名	事務長	1名	事務長	1名
主任	3名	主任	3名	主任	3名
生活支援員	37名	生活支援員	31名	生活支援員	31名
支援員（パート）	10名	支援員（パート）	9名	支援員（パート）	9名
事務員	2名	事務員	2名	事務員	2名
看護師	1名	看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名	栄養士	1名	栄養士	1名
パート	7名	パート	6名	パート	6名
計	64名（兼務2）	計	56名（兼務2）	計	56名（兼務2）

グループホーム		3年度		2年度	
管理者	1名（兼務）	管理者	1名（兼務）	管理者	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
主任	1名	主任	1名	主任	1名
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
世話人	10名	世話人	5名	世話人	5名
パート	3名	パート	8名	パート	8名
計	18名（兼務4）	計	18名（兼務4）	計	18名（兼務4）

特定相談支援事業所（明星学園一番星）

		3年度		2年度	
所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）

相談支援専門員	7名（兼務7）	相談支援専門員	5名（兼務5）
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	12名（兼務12）	計	10名（兼務10）

特定相談支援事業所（第二明星学園一番星）

3年度		2年度	
所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）
相談支援専門員	5名（兼務5）	相談支援専門員	6名（兼務6）
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	10名（兼務10）	計	11名（兼務11）

明星保育園		3年度	2年度
園長		1名	1名
主任		1名	1名
副主任		1名	1名
保育士（正職）		12名	9名
保育士（パート）		6名	9名
保育士（派遣）		0名	1名
看護師（パート）		0名	0名
事務員		3名	2名
栄養士		1名	1名
調理師		3名	3名
パート		6名	3名
代替保育士		1名	0名
計		35名	31名

3 利用者・園児の状況

○明星学園・第二明星学園

令和4年3月31日現在

<支援区分別>

（単位：人）

支援区分	明星学園		第二明星学園	
	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
区分 6	30	29(9)	33	32(13)
区分 5	8	7(25)	30	26(16)
区分 4	3	3(7)	6	3(22)
区分 3	0	0(0)	3	0(4)
区分 2	0	0(1)	0	0(2)
区分 1	0	0(1)	0	0(0)
合計	41	39(43)	72	61(57)

	明星学園		第二明星学園	
平均支援 区分	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
	5.66	5.67 (5.14)	5.29	5.48 (3.70)

() は、平成23年度のデータです。

<出身市町村>

明星学園 施設入所

(単位：人)

飯田市	伊那市	駒ヶ根市	松本市	小諸市	高森町	阿南町	南木曾町
9	6	4	2	1	1	2	1
塩尻市	大町市	松川町	諏訪市	須坂市	下條村	川上村	泰阜村
1	1	1	1	1	1	1	1
大鹿村	天龍村	豊丘村	安曇野市	阿智村	計		
1	1	1	1	1	39		

第二明星学園 施設入所

(単位：人)

飯田市	伊那市	岡谷市	松本市	諏訪市	塩尻市	千曲市	茅野市
18	5	4	1	3	2	1	2
松川町	泰阜村	南箕輪村	辰野町	駒ヶ根市	下諏訪町	原村	小布施町
2	1	1	2	2	1	1	1
高森町	信濃町	大桑村	中川村	天龍村	下條村	飯島町	阿智村
2	1	1	1	1	5	1	2
計							
61							

※出身市町村の状況

	飯田下伊那市町村	その他の市町村	人数
令和 3年	50.0%	50.0%	100人
平成23年	46.5%	53.5%	99人

<平均年齢>

	明星学園			第二明星学園		
	男性	女性	計	男性	女性	計
人数	24人	15人	39人	39人	22人	61人
平均年齢	47.9歳	47.3歳	47.7歳	51.3歳	53.5歳	52.1歳

明星学園 + 第二明星学園			
	男性	女性	計
人数	63人	37人	100人
平均年齢	50.0歳	51.0歳	50.4歳

入所者最高齢 : 83歳 (女性)

最年少 : 24歳 (女性)

グループホーム

①支援区分別 (単位：人)

支援区分	共同生活援助
区分5	3
区分4	3
区分3	2
区分2	2
合計	10

① 出身地の状況

出身市町村

(単位：人)

飯田市	阿智村	豊丘村	大鹿村	泰阜村	喬木村	横浜市	計
4	1	1	1	1	1	1	10

<平均年齢>

GH			
	男性	女性	計
人数	8人	2人	10人
平均年齢	60.4歳	71.5歳	62.6歳

入居者最高齢：75歳（女性）

最年少：51歳（男性）

※入退所について

明星学園1名入所（9月：月組30代男性）

明星学園2名退所（6月死亡：月組40代男性、2月死亡：月組40代女性）

第二明星学園2名入所（2月：雪組30代男性、虹組60代女性）

第二明星学園2退所（11月：虹組30代男性、2月死亡：虹組80代男性）

◎明星保育園 園児の状況

地区別在籍人数（令和3年3月31日現在）

地区		年長	年中	年少	2歳児	1歳児	0歳児	
		にじ	つき	ほし	つくし	つぼみ 1	つぼみ 0	計
園児数		21	28	31	20	21	10	131
県	切石	7	12	11	7	5	1	43
	上山	2	5	5	1	5	3	21
	中平	3	3	1	2	1		10
	下山			2				2
	上茶屋	1		1		2		4

	一色	1	2	1	3	2	2	11
	名古屋		1	1		1		3
伊賀良	北方	2		2	2	2	1	9
	大瀬木		1	3	1	1		6
	上殿岡			2			1	3
山本	山本	1	1		2		1	5
上郷	別府	1						1
市内	育良			1				1
	羽場					1		1
	丸山			1				1
	松尾	2	1		1			4
	駄科				1		1	2
	嶋		1			1		2
	下久堅		1					1
	桐林	1						1
	計	21	28	.31	20	21	10	131

保育種別人数（令和3年3月31日現在）

	4歳児以上	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	小計	合計
標準保育	20	11	4	4	3	42	131
短時間保育	29	20	16	17	7	89	

園児の利用実績

令和3年度園児数の推移

クラス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	1	3	4	6	9	9	11	11	11	11	10
1歳児	22	22	23	24	24	24	23	22	22	22	22	21
2歳児	20	20	20	19	19	19	19	19	20	20	20	20
3歳児	33	33	33	33	33	31	31	31	31	31	31	31
4歳児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
合 計	125	125	128	129	131	132	131	132	133	133	133	131

経年の園児数の推移 平成27年度～令和3年度 (各年度4月当初・3月末及び増減)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	以上児 割合	未満児 割合	以上児 人数	未満児 人数
2015年 平成27年度	4月	12	18	24	17	30	20	121	55%	45%	67	54
	3月	12	18	24	17	30	20	121	55%	45%	67	54
	増減	0	0	0	0	0	0	0			0	0
2016年 平成28年度	4月	2	17	20	25	27	30	121	67%	33%	82	39
	3月	7	16	19	25	26	30	123	66%	34%	81	42
	増減	5	-1	-1	0	-1	0	2			-1	3
2017年 平成29年度	4月	2	14	20	23	25	25	109	67%	33%	73	36
	3月	8	19	20	24	25	24	120	61%	39%	73	47
	増減	6	5	0	1	0	-1	11			0	11
2018年 平成30年度	4月	1	16	22	31	25	25	120	68%	32%	81	39
	3月	9	20	21	30	25	24	129	61%	39%	79	50
	増減	8	4	-1	-1	0	-1	9			-2	11
2019年 平成31年度 令和元年度	4月	4	16	22	23	30	24	119	65%	35%	77	42
	3月	8	17	23	20	30	22	120	60%	40%	72	48
	増減	4	1	1	-3	0	-2	1			-5	6
2020年 令和2年度	4月	7	15	22	27	20	30	121	63%	37%	77	44
	3月	13	17	21	28	21	30	130	60%	40%	79	51
	増減	6	2	-1	1	1	0	9			2	7
2021年 令和3年度	4月	1	22	20	33	28	21	125	66%	34%	82	43
	3月	10	21	20	31	28	21	131	61%	39%	80	51
	増減	9	-1	0	-2	0	0	6			-2	8